Product Liability NEWS

jtdna 検索

7号

15.OCT.2014

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒982-0823　宮城県仙台市太白区恵和町 35-28
☎050-6865-5180　FAX：03-6915-5824
✉c-japan@jtdna.or.jp

■デザインと PL■

デザイナーの協会でなぜ PL というものを進めているのか、このことをぜひ理解していただきたいと思います。 入口を間違えたら正しい理解はできません。PL 法にしても同じです。「通常有すべき安全性に欠けていれば欠陥」と書いてあるにも関わらず、 現在は「明らかな欠陥」でないと弁護士も保険会社も対応できないのです。 PL 法が施行され既に 20 年経ちました。

Product Liability とは何なのでしょうか？

ぜひ、「デザイン（Design）」という英語を wikipedia で調べてみてください。 今期の後期セミナー（9月から11月までの3回）ではこの「デザインと PL」の関係を説明しています。**「デザイン成果物が Product」であり、その成果物の「結果責任が Product Liability」、事業者が消費者に負う自らの成果物の結果責任そのものです。**

「Design と PL」セミナースライドより

その責任の最たるものが「説明責任」、例外などありません。 危ないものは市場に供給してはいけない、誰でも分かる大原則です。ただ、絶対安全なものもありません。だからこそ製品固有のリスクを正しく伝え、 回避して正しく安全に使ってもらう、 何とも当たり前のことが「PL の基本」です。 危険性がわかったら市場から排除する、これがリコールです。 全て、 当たり前のことです。 丁寧に売るために必要なのが PL 対策です。PL 法対策のように、 PL 法の責任から逃れようとする行動の無意味なことをぜひ理解してください。

理事長　渡辺吉明

「Design と PL」セミナースライドより

INDEX

1ページ・・・・デザインと PL
2ページ・・・・『シニアの力を経営に』のご案内
3ページ・・・・各地の取り組み
4ページ・・・・PL 検定事務局より

11 月のセミナー案内

東京　日時　11/26（水）13:30～16:30
場所　豊島区西池袋1−21−7
三井住友海上池袋支店6F 会議室

【最新 PL 対策の取り組み】

- 産業のグローバル化、オムニチャネルなどのリスク拡大とその対策
- PL 対策と社内体制、 取引先との取り組みを成功させるには！
- 11月1日東北工業大学でのシンポジウムの報告及び PL 研究学会発足とその影響について

詳細は協会ホームページ「イベント情報」からご覧ください。

http://www.jtdna.or.jp/pl-seminar.html

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014 年 10 月号

『シニアの力を経営に』（中小企業庁・補助金事業）のご案内

シニア人材の要望と、そのコンサルを受けたい事業者のニーズをしっかりマッチングさせ実現確立を向上させるために支援します。

****

例えば、中小企業事業者が、当協会の推進する最新 PL 対策（取説改善、ＱＣ上のコンサル、社内体制の整備アドバイス、リコール対策、社員研修など）について、この助成を利用することで、当協会のインストラクター、スーパーバイザー、理事などのアドバイスを、国の支援で 1 回 4 時間以上、最大 5 回まで受けることができます。

****

1 事前登録

1 シニア人材 … 概ね 50 歳以上の方は個人で、自分のキャリアなどを登録してください。

2 中小企業 … 中小企業（法人登記されていることと、団体は対象外、中小企業法に基づく）は、コンサルティングの支援を受けたい内容を登録していただきます。

2 支援について

登録企業の要望とマッチングするシニア人材を、当該事業受託事業者にてマッチングをおこない、シニア人材に国から謝金が支払われます。これにより、自費ではコンサルティングの受けられない企業、受けたいが自社予算では足りない場合などを解決できます。

※出張の場合は、交通費、宿泊費も別途支払われます。（条件が付く場合があります）

※事業詳細と登録申し込みは下記サイトから

http://www.senior-jinzai.com/index.html

登録後、必ずご報告してください。ご報告の無い場合、マッチングサポート実現確率が下がります。

この支援事業を利用して当協会の PL 対策に関するアドバイスを希望される中小企業事業者さまには、当協会事務局（東京）にてご案内いたします。事務局より別途ご案内いたします。

****

特定非営利活動法人 日本テクニカルデザイナーズ協会
（JTDNA）
本件お問い合わせは c-japan@ jtdna.or.jp

セミナー講師を派遣します

当協会ではセミナー等の講師派遣のご相談を承っておりますので、事務局までお気軽にご相談ください。

●当協会の定めるツールを使い実施するセミナー
1時間30分まで　40,000円
1時間延長事に　20,000円増
但し、4時間迄

●上記以外の内容をご希望の場合は、別途事務局にご相談ください。

●事務局
TEL：050-6865-5180　FAX：03-6915-5824
平日 10 時～ 18 時まで対応
e-mail：　c-japan@jtdna.or.jp

PL対策ワンポイントアドバイス

Q：PL 対策で最も重要なことは何か。

A：事故発生情報（疑わしきも含め）を得た場合、いかに迅速に社内及び関係者（この範囲を狭義の勝手な判断をしない）と対応方針を決定できるかです。リスクマネジメントでは、疑わしき事案についても重大事故との認識から初期判断をし、内容を直ちに調査、実態を把握する事が重要です。民事訴訟については10年ですがリコールに期限がありません。PLP,PLD 対策をしっかりおこなってください。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

各　地　の　取　組　み

首都圏

首都圏セミナー事情

JTDNA 製品安全（PL 対策）首都圏セミナーは、前期（4 月～7 月）後期（9 月～11 月）の 2 回、それぞれ 3 回 1 クールで開催しています。 前期は新しい後援者である三井住友火災海上様の会場で盛況のうちに終了しました。 後期もリコール対応を中心に既に 2 回を終了し、 11 月 26 日の最終回を残すだけになりました。 後期の特徴として申し込みの約 60％が3回連続の申し込みとなっています。 また、個別企業の品管担当の方とマンツーマンで直接 JTDNA の事務所で勉強会を開催することも多くなりました。 写真は「日本特殊陶業（株）」の田村俊介様との勉強会風景です。しかし、 後期に入り事業者様からの講師派遣依頼が多くなっていることから、 これからは、 社内セミナーへの出張講演を主体として活動する方針です。 なお、 出張講演につきましては JTDNA が講師と認定した人物が担当させていただきます。 講演内容は、 JTDNA セミナーでお知らせしている内容が中心となりますが、 事業者様と相談の上、個々の要請に合わせて対応いたします。

西日本

製品安全への取り組み増える

関西方面でも製品安全関連のセミナーや勉強会が見受けられるようになってきました。
この 10 月は協会主催の勉強会の他に、 一般財団法人大阪デザインセンター主催（共催：日刊工業新聞社）の製品安全対策カンファレンス（全 5 回）も開催されています。良い機会なので、 私達も参加してきました。 このカンファレンスは、 経済産業省が主催している製品安全対策優良企業表彰の受賞事業者が登壇し、 各事業者の製品安全対策の取り組みを聞くことができるものです。 製品安全対策の取り組みに終わりはありません。 これから行動を起こそうとしている事業者にとって、 先行事業者の活動事例は参考になると思います。 活動事例といえば、 協会主催のセミナーや勉強会の質疑応答時間でも、 参加事業者同士でのリアルな意見交換が増えてきました。 特に、 業種業態の違う事業者間での意見交換は、 新たな発見があります。
この様な取り組み事例の情報発信が活発になることで、 事業者だけでなく消費者教育への広がりも期待しています。

東日本

１１月１日東北工大シンポジウムの事務局を担っています。

東日本支部は、 大学での PL 教育をこの間、 5年に亘り応援し、 具体的にはデザインを学ぶ学科の2年生を対象に年二回の講義を行い、 PL 検定受検を後押ししてまいりました。
この度大学で初めて開かれる、 PL をテーマにしたシンポジウムでは、 協会も協賛団体として参加、 実行委員会に加わり事務局を担っています。
この間、 文部科学省・消費者庁・東北経済産業局等の行政や、 地元テレビ局、 新聞社の東北総局に後援を申請し、 承認をいただく取り組み、 案内用の印刷物やウエブサイトの制作に貢献してまいりました。
この記事が届く頃には東北経済産業局のニューズレターなどでも紹介されていることと思います。
いよいよ、 日程も差し迫り参加申込も入ってきています。当日のプログラム作成も担当し、 一次案もすでに提案し練りこみ始めています。 資料の制作や当日の受付体制など、準備する事が山ほどあります。 東日本支部のメンバー総力で成功を実現させようと奮闘中です。

寄付のお願い

当協会は、 寄付金と会費で運営されています。 皆様の善意の寄付や会費で、 消費者安全に関わる具体的な取組みを行っている団体です。

●郵便振替でご送金の場合
口座番号　00140-4-433181
加入者名　NPO 法人日本テクニカルデザイナーズ協会
通信欄に、住所、氏名、および「寄付金」と記入してください。
郵便局に用意されている用紙をご利用ください。

●銀行口座からのご送金の場合
三菱東京 UFJ 銀行　西池袋支店　（普通）2319398
口座名義　特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
送金と同時に、 以下の内容でメールを送信してください。
氏名、 住所、 金額、 および「寄付金」と明記
Email：c-japan@jtdna.or.jp

●いずれの場合も、 送金手数料はご負担願います。 詳しくは協会ホームページにてご覧ください。

http://www.jtdna.or.jp/kifukin.html
アクセス QR コードはこちら >>>

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

P L 検 定 事 務 局 よ り

■クレームが減り負担軽減

検定合格者の声

株式会社ベルーナ
染谷知孝様

電動ベッド事故を起こし、自分に何かできないかと考え説明書の改善を進めるために JTDNA にお世話になってからちょうど 6 年が経ちました。
それまでは何となく、見よう見まねで作っていた取説もこちらで色々と知識を得ることで、見違える内容になりました。おかげさまでお客様からの商品に関する連絡も減り、企画担当だけでなく、お客様と直に対応するオペレーターの方々の負担も大幅に減ったことで、感謝されるようになりました。
費用面での負担を少なく抑え、なおかつ取説制作の大幅なスキルアップを目指すには JTDNA で学ぶのが一番だと思います。

■PL 検定問題改訂しました

このたび、「P L 検定 3 級試験問題」を V er.3 に改訂、「広範囲」な知識を問う内容となっています。新 P L 研究学会の設立も決定し、「P L」は≪より身近なもの≫となります。「製品安全の実現」に向けて、一緒に勉強しましょう。

PL 検定例題

【例題】
近年の、ネットショップ・テレビショッピング・量販店や通信販売といった販売方法の多様化が、「誤使用」事故増加の一因である。
【正解】○
【解説】
今後も、増加の一途をたどるであろう「非対面販売」。この場合、「事業者の説明責任」は「取扱説明書」により達成されますが、その不備は「消費者の誤使用」を招きます。製品事故に至れば、結果的に「事業者の賠償責任」が生じます。「製品安全の実現」のためには、事業者・消費者それぞれの、「自己責任」に対する配慮が不可欠です。その意味で、「取扱説明書」が担う役割は、極めて大きいのです。

■事務局だより■

■本部事務所移転のお知らせ

平素は当協会の活動をご支援いただき、ありがとうございます。
本年4月より、東北工業大学に『デザインと PL』の研究室が立ち上がり、PL 対策などの本格的な研究の場を仙台に移すことを決定し、現在の池袋の本部事務所を閉鎖し仙台に移転することになりました。東京での連絡拠点は板橋に移転し、引き続きセミナー、講習会などをおこなってまいります。移転後の業務内容などはホームページに詳しく掲載しますので、併せてご覧ください。

本部移転先：〒982-0823
宮城県仙台市太白区恵和町 35-28
電話：０５０－６８６５－５１８０
FAX：０３－６９１５－５８２４
※メールアドレス、URL は変更ありません

■会員更新の案内配布

いつもありがとうございます。
事務局では順次　準会員および正会員の会員更新を書面またはメールにて行っております。
初年度は会費無料、2 年目より所定の費用が発生します。
この紙面をおかりして再度ご案内させていただきます。
季節の変り目です、体調管理を十分にいたしましょう。
何よりも予防が大切ですね。

（事務局　秦）

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.